

平城京・平城宮の遺跡名や地名の 韓国語表記方法に関する提案

扈 素妍・奈良文化財研究所

A Proposal on How to Write the Proper Names and Place Names Related to the Nara Palace and Capital Sites in Korean

Ho Soyeon・Nara National Research Institute for Cultural Properties

韓国語表記法／Korean orthography 平城宮・京／Nara Palace and Capital Sites

現状

現在、平城宮跡歴史公園の中の遺跡名及び地名の韓国語表記は、①韓国漢字音でそのまま表記したもの、②韓国語語文規範による表記、③日本語発音そのまま表記したものが併存している。事業の所轄が異なる、平城宮いざない館や第一次大極殿復原事業情報館のパンフレットを差し置いても、奈文研で発行したパンフレットたちとウェブサイトの表記も統一されていない状態である。一例として「平城宮」の表記を取り上げると次の通りである。

『世界遺産/特別史跡 平城宮跡ガイド』：平城宮（헤이조오규우）

『奈良文化財研究所の地下に眠っている遺構』：헤이조규（平城宮）

『平城京植物園』チラシ：헤이조궁

『平城宮 朱雀門』『平城宮第一次大極殿 大極殿』『特別名勝 平城宮 東院庭園』：헤이조궁

奈良文化財研究所Web：헤이조규（平城宮）

問題点

以上のような、表記の併存は平城宮のみならず、大極殿・朱雀門・羅城門などあらゆる地名・遺跡名に共通している問題である。これから奈文研で多言語事業を進んで行き、ナレーションや動画の製作が増えることやウェブサイトのリニューアルなどを考慮すれば、今こそ少なくとも奈文研内における韓国語の表記方法を統一しておく必要がある。さらに、これからコロナ時勢が終わり、観光客が増えることを想定すると、地名の韓国語表記は単に資料館内のパネルや説明を読んで理解することに止まらず、韓国人観光客が奈良の観光地を直接に訪れる

までのつながりにもなる。そのため、今後の研究者や実務者が翻訳及び表記をする際の混乱をさげ、観光客の便宜を図るためでも、平城京・宮の遺跡地名の表記の統一を試みようとする。

「韓国語語文規範」による日本語表記法

表記方法を確定するためには、まず、韓国の国立国語院の「韓国語語文規範」を検討しなければならない。「韓国語語文規範」によると、韓国語で日本人名・地名の表記規範は次の通りである。

1. 日本人名と地名は過去と現代の区分なしに、日本語表記法により表記することを原則とするが、必要な場合、漢字を併記する。
2. 日本の地名の中、韓国漢字音で読む慣用がある場合、これを許容する。
3. 韓国を除外して島は全部「섬」で統一する。
4. 地名が一つの漢字になっている場合、「강 (江・川)」「산 (山)」「섬 (島)」などは重ねて表記する。(例：早川→ 하야카와 (はやかわ) 강)

ところが、以上のような韓国語語文規範はひとつ問題がある。それは、韓国語表記と実際の日本語発音と差異があることである。例えば「豊臣秀吉」はそのままの発音を韓国語に表記すると「토요토미 히데요시 (とよとみひでよし)」になるが、上記規範によって表記すると「도요토미 히데요시 (どよとみひでよし)」としなければならない。すなわち、語頭の有気音を全部平音に変換して表記することが規範になっている。問題は、これは日本語に適用するのみで、「Costa Rica」などはそのまま「코스타리카 (こすたりか)」で表記していることである。すなわち、発音の限界などによる表記方法ではなく、音声学によるそれなりの理由はあるものの、一つの日本語字に対して韓国語字を二つ与えて表記することは合理的ではない上、そもそも発音も似ていない。

以上のような実際の発音と韓国語表記の乖離は、韓国国内における学術共有などには問題ないかもしれないが、日本に観光に来た場合、以上の表記は実際の地名とはことなるため、観光客としては地名を日本語で聞いても聞き取れないし、その地域を探しにくい。

奈文研としての案

従って、これからの奈良文化財研究所の韓国語地名表記は、基本的には韓国語語文規範を従うが、地名の表記はより日本語発音に近いもので表記することにしたと思う。

以上に基づいて、次のような平城京遺跡地及び地名表記案を提示する。

平城宮：헤이조궁

平城京：헤이조경

朝堂院：초도인

大極殿：다이고쿰덴

内裏：다이라

羅城門：라조문

朱雀大路：스자쿠대로

若犬養門：와카이누카이문

西池宮：니시이케궁

兵部省：효부쇼

式部省：시키부쇼

大藏省：오오쿠라쇼

東大寺：토다이지 절

春日大社：카스가대사

越田離宮：코시다리큐 별궁

そして、以上の表記の方針は次の通りである。

- ①日本語発音は語頭の有気音をそのままの発音で表記して、他の発音は韓国語語文規範に従って表記する。
- ②「宮」「門」「大路」など韓国漢字音で表記した方が直観的にその役割を理解できる場合は韓国漢字音を付けて表記する。
- ③「寺」「院」「離宮」など韓国漢字音表記ではどのような所か理解しにくい場合、その字まで含んだ日本語地名をそのまま、ハングルで表記する。そのあと、その役割を分かるように「절」「별궁」などの〈韓国語訳〉を付けて表記する。一ただし、このような地名の前後にそこについての説明があり、その説明でその場所の役割が理解できる場合、「절」「별궁」などは表記せず、()を付けて

そのなかに漢字を併記して表記する。

- ④今まで発行されたパンフレットなどの表記を全部変更することは、現実的に不可能であるため、これからの表記に（ ）を付けてその中に、今までの表記を併記する。
- ⑤띄어쓰기、すなわち分かち書きについては、次の通りにする。「韓国語語文規範」の第49項によると「헤이조 궁」「헤이조궁」両方とも間違っていない。ところが、ネイティブの感覚で決定しておくのは紛らわしいし、納得できない説明と考え、②の場合はそれ全体を一つの固有名詞にして붙여쓰기(続け書き)することで決めておく。一方、③の場合、「절」「별궁」などは二重表記になるため、띄어쓰기する。
- ⑥以上の方針は、学术论文などの専門的出版物は対象とせず、一般向けの出版物(パンフレットなど)に限って適用する。